

先史考古学者山内清男とその著作目録

武井 則道

近代日本科学の一分野としての考古学が第一歩を踏み出したのは明治維新の後のことである。それは欧米で発達した近代科学の方法の移植によってである。モース、ジョン・ミルン、ゴerlandなどの研究者によるものである。ここで取り上げる山内清男とのかかわりでいうとモースがおおきな役割を果たした。

モースはアメリカの動物学者で軟体動物の研究をしていた。また、チャールズ・ダーウィンが『種の起原』を刊行すると早速読み、進化論を奉じたのである。日本に研究する貝類が豊富に存在することを知り、太平洋を渡ってきたのである。横浜から新橋へ来る蒸気機関車の車窓から大森に貝塚があることを発見した。東京大学理学部の教師に採用されて動物学を講じた。その傍ら1878（明治11）年大森貝塚を発掘した。その報告書を英文と和文で著した。Shell Mounds of Omori と『大森介墟古物篇』がそれである。1879（明治12）年のことである。これ以後坪井正五郎、鳥居龍蔵、松村瞭、松本彦七郎、山内清男・甲野勇・宮坂光次・八幡一郎によって研究が進められてきた。時代がすすむにつれて色々な研究分野が拓けてきた。縄紋時代研究・弥生時代研究・日本考古学史・人物史などである。

人物史の分野もそうしたものの一つである。この研究に当たっては森銑三の著作に学ぶ必要がある。歴史科学でいうと研究者の日記・書簡・著作・研究業績などが研究対象になる。だが、考古学の研究者は調査研究をすすめるに当たって歴史科学研究の歴史的事実を実証するための約束事があることを無視して自分勝手に基準を設けて進めることがまま見られる。古文書を解読するのに当たっては冊子の状態のものを部分だけ抜き出して読み下し、全体との在り方とかななどを説明せず公表するものがある。しかも、査読制を採用している研究会においてである。また、対象の人物の行動を記録するために本人とか、家族とか、関係者とか、に聞くことがある。この際にも歴史科学における手続きが必要である。それなのに聞いたことをそのまま吟味すること無く事実として書くものがある。論文と随想の区別のないのが考古学の世界では通用するようである。

日本考古学史に関心がある筆者は人物研究に必要なことを一つひとつ深めていくことを考えている。この著作目録のそうした作業の一つである。

山内清男については佐藤達夫が『日本考古学選集 21 山内清男集』で「山内清男—主要著作目録」があるだけで、中村五郎の『画龍点睛』では「第2章 山内清男先生伝記資料」「1 年譜」があるだけである。そこで、一つの試みとして作製したのがこの著作目録である。未だ十分なものでない。書誌学的に必要な項目が空白になっている。これらについては筆者も追及していくが、ご覧になられた方がたのお力添えをお願い致します。また、著作によっては解説が必要なものがありますが今回は時間と能力の関係で次回に期したいと思います。最後に敬称はすべて省かせていただきました。お許しを乞う次第である。

山内清男著作目録

刊行年

書名・論文名

掲載書・誌名 巻・号 ページ・図版 出版学会・出版社名 月 日

1923

大正12年

- 1 大正11年度諏訪郡壮丁の人類學的研究（諏訪郡住民の人類学 1）

共平沼大三郎

信濃教育 第440号 3-65 信濃教育會 6月7日

1924

大正13年

- 2 磐城国新地村小川貝塚発掘略記（小川貝塚—三貫地貝塚—豎穴

人類学雑誌 第39卷第4號第5號第6號 212-216 東京人類学会 6月25日

1925

大正14年

- 3 磐城国三貫地貝塚発見土器の撚糸紋 人類学雑誌 第40卷第2號 72-76 東京人類学会 2月25日

- 4 石器時代にも稲あり 人類学雑誌 第40卷第5號 181-184 第6図版 東京人類学会 6月9日

1926

大正15年

- 5 ボー氏の日本史前遺品蒐集 人類学雑誌 第41卷第10號 498-499 東京人類学会 10月25日

1928

昭和3年

- 6 下総上本郷貝塚 人類学雑誌 第43卷第10號 463-464 東京人類学会 10月15日

1929

昭和4年

- 7 関東北に於ける繊維土器 史前学雑誌 第1卷第2號 1-30・図版1 史前学会 5月15日

- 8 繊維土器について——追加一 史前学雑誌 第1卷第3號 85・86 史前学会 7月15日

- 9 J. Nakaya: A Study of the Stone Age Remains of Japan. I.

Classification and Distribution of Vases with Spots.——書評

史前学雑誌 第1卷第3號 90-91 史前学会 7月15日

1930

昭和5年

- 10 繊維土器について——追加二 史前学雑誌 第2卷第1號 73-75 史前学会 1月15日

- 11 斜行縄紋に関する二三の觀察 史前学雑誌 第2卷第3號 13-25 史前学会 5月15日

- 12 繊維土器について——追加三 史前学雑誌 第2卷第3號 45-50 史前学会 5月15日

- 13 所謂亀ヶ岡式土器の分布と縄紋式土器の終末

考古学 第1卷第3号 139-157 東京考古学会 5月 日

- 14 ABSOLON, K.L.' New Finds of Fossil Human Skeletons in Moravia .

Anthropologie, Prague, VII, 1929. p.79-89.

- 人類学雑誌 第45巻第6号 249・250 東京人類学会 6月15日
- 15 MATIEGKA, I. The Skull of the Fossil Man Brno III, and the Cast of its Interior .Ibid. p.90-107.
人類学雑誌 第45巻第6号 250・251 東京人類学会 6月15日
- 16 ABSOLON, K. L' Aurignacien tres ancien ou pseudomousterien en Moravie.
Compterendu au Congressdene Constntine, 1927.
人類学雑誌 第45巻第6号 251 東京人類学会 6月15日
- 17 所謂亀ヶ岡式土器の分布云々に関する追加一
考古学 第1巻第4号 273-277 東京考古学会 7月 日

1932

昭和7年

- 18 下野國河内郡國本村野澤の土器 史前學雜誌 第4巻第1号 11-16 史前學會 3月1日
- 19 旋毛 ドルメン 第1巻第3号 23-28 岡書院 2月1日
- 20 磨製片刃石器の意義 人類学雑誌 第47巻第7号 244-251 東京人類学会 7月25日
- 21 日本遠古之文化 一 縄紋土器文化の真相 ドルメン 第1巻第4号 40-43 岡書院 7月1日
- 22 日本遠古之文化 二 縄紋土器文化の起源 ドルメン 第1巻第5号 85-90 岡書院 8月1日
- 23 日本遠古之文化 三 縄紋土器文化の終末 ドルメン 第1巻第6号 46-50 岡書院 9月1日
- 24 日本遠古之文化 三 縄紋土器文化の終末 四
ドルメン 第1巻第7号 49-53 岡書院 10月1日
- 25 日本遠古之文化 四 縄紋土器文化の以後 (前)
ドルメン 第1巻第8号 60-63 岡書院 11月1日
- 26 日本遠古之文化 四 縄紋土器文化の以後 (中)
ドルメン 第1巻第9号 48-51 岡書院 12月1日

1933

昭和8年

- 27 日本遠古之文化 四 縄紋土器文化の以後 (完)
ドルメン 第2巻第2号 49-53 岡書院 2月1日
- 28 磨製片刃石斧の意義 (著者抄) 考古学年報 第2輯 46・47 東京考古學會 9月 日

1934

昭和9年

- 29 江名子ひぢ山の土器について 會報 第二年第一号 12-14 飛彈考古學會 1月20日
- 30 稲の刈り方 ドルメン 第3巻第4号 275 岡書院 4月1日
- 31 陸奥國三戸郡是川村中居一王寺発見土偶
ドルメン 第3巻第7号 520・第18回版 岡書院 7月1日
- 32 新石器時代序説 世界歴史体系 1 史前史 359-367 平凡社 8月 日
- 33 貝塚は何故日本海岸に少いか ドルメン 第3巻第9号 658・659 岡書院 9月1日
- 34 土器型式の細別 石冠 第2年第4号 1-4 飛彈考古土俗學會 10月24日
- 35 石包丁の意義 ドルメン 第3巻第11号 834・835 岡書院 11月1日
- 36 真福寺貝塚の再吟味 ドルメン 第3巻第12号 904-911 岡書院 12月1日

1935

昭和10年

- 37 古式縄紋土器研究最近の情勢 ドルメン 第4巻第1号 36-44 岡書院 1月1日
- 38 八幡一郎「北佐久郡の考古学的調査」——書評
人類学雑誌 第50巻第2号 74-76 東京人類學會 2月15日
- 39 縄紋式文化 ドルメン 第4巻第6号 492-495 岡書院 6月1日

1936

昭和11年

- 40 日本石器時代文化の源流と下限を語る 参加者 江上波夫・後藤守一・八幡一郎・甲野勇
ミネルヴァ 創刊号 84-86 翰林書房 2月5日
- 41 日本石器時代人の壽命 ミネルヴァ 3月号 89-92 翰林書房 3月1日
- 42 日本考古学の秩序 ミネルヴァ 第1巻第4号 137-146 翰林書房 5月16日
- 43 武蔵高等学校裏石器時代遺跡の発掘 ミネルヴァ 第1巻第4号 156 翰林書房 5月16日
- 44 座談会 北海道・千島・樺太の古代文化を検討する 古代北方文化の構造と系統
出席者 馬場修・江上波夫・後藤守一・伊東信雄・喜田貞吉・三上次男・八幡一郎・甲野勇
ミネルヴァ 第1巻第4号 195-208 翰林書房 6月13日
- 45 考古学の正道——喜田博士に答ふ—— ミネルヴァ 第1巻第6号 249-255 翰林書房 8月15日
- 46 座談会 北海道・千島古代北方文化の構造と系統・樺太の古代文化を検討する(二)
古代北方文化の構造と系統
出席者 馬場修・江上波夫・後藤守一・伊東信雄・喜田貞吉・三上次男・八幡一郎・甲野勇
ミネルヴァ 第1巻第4号 295-300 翰林書房 9月25日
- 47 座談会 北海道・千島・樺太の古代文化を検討する(三) 古代北方文化の構造と系統
出席者 馬場修・江上波夫・後藤守一・伊東信雄・喜田貞吉・三上次男・八幡一郎・甲野勇
ミネルヴァ 第1巻第4号 347-352 翰林書房 12月10日

1937

昭和12年

- 48 日本に於ける農業の起源 歴史公論 第6巻第1号 266-278 雄山閣 1月1日
- 49 先史発見物記録 1-14 先史考古学 第1巻第1号 28 先史考古学会 2月4日
- 50 縄紋式土器の細別と大別 先史考古学 第1巻第1号 29-32 先史考古学会 2月4日
- 51 編輯後記 先史考古学 第1巻第1号 裏表紙 先史考古学会 2月4日
- 52 日本先史時代に於ける抜歯風習の系統 先史考古学 第1巻第2号 53-60 先史考古学会 3月5日
- 53 武蔵殿袋出土の早期縄紋式土器 先史考古学 第1巻第2号 63-64 図版2 先史考古学会 3月5日
- 54 編輯後記 先史考古学 第1巻第2号 65 先史考古学会 3月5日
- 55 武蔵野石器時代遺跡を探る 科学知識 第17巻第4号 86-89 科学知識普及會 4月1日
- 56 編集後記 先史考古学 第1巻第3号 85 先史考古学会 5月10日
- 57 福岡構内の石器時代遺跡発掘調査報告 共 関野 克 4月

1939

昭和14年

- 58 日本先史土器圖譜 第一部(関東地方) 第一輯 圖版1-10 十王台式・野澤式

- 内容略説 1—編輯後記 4 先史考古學會 7月
- 59 日本先史土器圖譜 第一部（関東地方）第二輯 圖版 10・11 A-19 関山式・諸磯式
内容略説 1—3. 編輯後記 4 先史考古學會 8月
- 60 日本先史土器圖譜 第一部（関東地方）第三輯 圖版 20-29 加曾利 B 式
内容略説 1—3. 編輯後記 4 先史考古學會 10月
- 61 日本先史土器圖譜 第一部（関東地方）第四輯 圖版 30-39 加曾利 B 式（續）
内容略説 1—3. 先史考古學會 11月
- 62 著 日本遠古之文化 補注付・新版 1-48 先史考古學會 12月 28日
- 序 言 本 文 縄紋式土器の細別と大別（表） 補註
- | | | |
|---------------------|---------|-----------------|
| A 序 言 | 1 | |
| B 目 次 | 2 | |
| C I 縄紋土器文化の真相 | 3-6 | 21 の再録 |
| D II 縄紋土器の起源 | 7-13 | 22 の再録 |
| E III 縄紋土器の終末 1・2・3 | 14-2 | 23 の再録 |
| | 4・5 | 28-33 24 の再録 |
| | 6・7・8・9 | 33-39 25・26 の再録 |
| F 縄紋土器の大別と細別 | 40 | 50 の表を再録 |
| G 補 註 | 41-49 | |

1940

昭和 15 年

- 63 日本先史土器圖譜 第一部（関東地方）第五輯 圖版 40-49 弥生式土器
内容略説 1-3. 先史考古學會 1月
- 64 日本先史土器圖譜 第一部（関東地方）第六輯 圖版 50-59 堀之内式
内容略説 1-4. 先史考古學會 3月
- 65 日本先史土器圖譜 第一部（関東地方）第七輯 圖版 60-69 安行式土器（前半）
内容略説 1-4 先史考古學會 8月
- 66 日本先史土器圖譜 第一部（関東地方）第八輯 圖版 70-79 勝坂式
内容略説 1-4 先史考古學會 8月
- 67 日本先史土器圖譜 第一部（関東地方）第九輯 圖版 80-89 加曾利 E 式
内容略説 1-4 先史考古學會 8月

1941

昭和 16 年

- 68 日本先史土器圖譜 第一部（関東地方）第十輯 圖版 90-99 安行式土器（後半）
内容略説 1-4 先史考古學會 6月
- 69 日本先史土器圖譜 第一部（関東地方）第十一輯 圖版 100-109 安行式土器（板倉沼発見土器特輯）
内容略説 1-4 先史考古學會 8月
- 70 日本先史土器圖譜 第一部（関東地方）第十二輯 圖版 110-119 茅山式（圖版 110-114）
内容略説 1・2、子母口式（圖版 115-119）

1942

昭和17年

- 71 片口付縄紋土器に就て 古美術 12巻第6号 96-98 寶雲舎 6月1日
 72 石器時代の犬小屋 民族文化 第3巻第8号 19・20・6 山岡書店 8月31日

1947

昭和22年

- 73 米作と日本の祖先たち 新農芸 第2巻第6号 45-48 新農芸社 9月 日

1952

昭和27年

- 74 第三章 各班調査報告 第三節 第二トレンチ 文化財保護委員会
 『吉胡貝塚』埋蔵文化財発掘調査報告 第一 93-124 吉川弘文館 6月20日

1953

昭和28年

- 75 鳥居博士と日本石器時代 学燈 第50巻第2号 22-24 丸善 2月 日

1954

昭和29年

- 76 故鳥居龍蔵先生著作目録 人類学雑誌 第63巻第3号 103-112 日本人類學會 2月27日
 77 弥生式文化の東西二大區域
 日本人類學會 連合大会第7回紀事 154 日本人類學會 連合大会 3月5日
 日本民族學協會 日本民族學協會

1955

昭和30年

- 78 鹿児島県出水貝塚の新発掘 共 河口貞徳
 日本考古学協会彙報 別篇4 12 日本考古学協会 4月30日

1957

昭和32年

- 79 人類學會の堀之内貝塚發掘 人類学雑誌 第65巻第5号 74 日本人類學會 3月30日

1958

昭和33年

- 80 縄文土器の技法 世界陶磁全集 1 日本古代篇 278-282 河出書房新社 1月30日
 81 圖版解説 15項目 世界陶磁全集 1 日本古代篇 278-282 河出書房新社 1月30日
 原色版 1 縄文前期 片口形甕 (関山式) 埼玉縣入間郡福岡町上福岡出土 284
 単色版 21 縄文前期 圓筒土器 (圓筒下層式) 青森縣三戸郡是川村中居一王寺貝塚出土 288
 23 縄文中期 圓筒土器 (圓筒上層式) 青森縣三戸郡是川村中居一王寺貝塚出土 288
 30 縄文中期 裝飾付甕 (加曾利E式) 富山縣氷見郡朝日貝塚出土 289
 33上 縄文後期 朝鉢 (堀之内式) 茨城縣稻敷郡安中村陸平貝塚出土 290
 34 縄文後期 甕 (加曾利B式) 茨城縣稻敷郡高田村椎塚出土 290

35 上	縄文後期	釣手土器 (加曾利 B 式)	茨城縣稻敷郡大須賀村福田貝塚出土	290
35 下	縄文後期	雙口土器 (加曾利 B 式)	茨城縣稻敷郡安中村陸平貝塚出土	290
37 上	縄文後期	臺附淺鉢 (加曾利 B 式)	茨城縣稻敷郡高田村椎塚出土	290
37 下	縄文後期	淺鉢 (加曾利 B 式)	東京都大森區大森貝塚出土	290
40 上	縄文後期	注口土器 (加曾利 B 式)	茨城縣稻敷郡大須賀村福田貝塚出土	291
40 下	縄文後期	臺附淺鉢 (安行 II 式)	千葉縣海上郡海上村余山貝塚出土	291
44 下	縄文晩期	香爐形土器 (大洞 B 式)	秋田縣南秋田群高崎中山遺跡出土	292
45	縄文晩期	德利形土器 (大洞 BC 式)	秋田縣南秋田群高崎中山遺跡出土	292
47 上	縄文晩期	注口形土器 (大洞 BC 式)	青森縣二戸郡小鳥谷村出土	292
82	考古学から見た高島盆地	羽陽文化 第 40 号	29-31 山形県文化財保護協会	10 月 5 日

1960

昭和 35 年

83	縄紋土器文化のはじまる頃	上代文化 第 30 輯 1・2	國學院大學考古学会	6 月 25 日
84	序 文	中村孝三郎著『小瀬が沢洞窟』 iii	長岡市立科学博物館	12 月 10 日

1962

昭和 37 年

85	大分県丹生の前期旧石器 共 金関丈夫・佐藤達夫	日本考古学協会第 28 回総会研究発表要旨 00-00	日本考古学協会	4 月 28 日
86	縄文土器の古さ 共 佐藤達夫	科学読売 第 14 卷第 12 号 84—88	グラビア 18-20 読売新聞社	12 月 1 日
87	英文抄録	86 の抜刷に付す		

1963

昭和 38 年

88	洞穴遺跡の編年と年代	洞穴遺跡調査会会報 6 4-6	洞穴遺跡調査会	4 月 29 日
----	------------	-----------------	---------	----------

1964

昭和 39 年

89	特集 縄文土器にまつわる疑問 参加者 木越邦彦・尾崎博・坂口豊・那須紀幸・佐藤達夫	科学読売 第 16 卷第 1 号 21-35	読売新聞社	1 月 1 日
90	編著 日本原始美術 1 縄文式土器	原色図版 20 グラビア 134 本文 135—158	講談社	3 月 10 日
	A 緒 言	1-4		
	B 日本先史時代概説			
	I 旧石器時代 共 佐藤達夫	135-137		
	II 無土器文化 共 佐藤達夫	137-140		
	III 縄文式文化	140-144		
	IV 縄紋式以後の文化	144-147		
	C 縄文式土器総論			
	I 縄文土器の年代別と地方別	148-150		

II	縄文土器の製作と用途	150-153
III	縄文	153-155
IV	口縁の突起および把手	157
V	文様帯系統論	157・158
D	図版解説 20項目	
28	円筒深鉢 円筒下層 c 式 八戸市是川一王寺貝塚	175
29	円筒深鉢 円筒下層 d 式 青森県八戸市是川一王寺貝塚	175
40	鉢 大木 6 式 宮城県桃生郡鳴瀬町川下り貝塚	176
41	鉢 大木 6 式 宮城県桃生郡小野村川下り貝塚	176
43	片口付深鉢 関山式 埼玉県入間郡福岡町上福岡貝塚	176
67	円筒深鉢 円筒上層 b 式 八戸市是川一王寺貝塚	177
71	円筒深鉢 円筒上層 b 式 八戸市是川一王寺貝塚	177・178
72	円筒深鉢 円筒上層 a 式 八戸市是川一王寺貝塚	178
73	深鉢 大木 8a 式 八戸市是川一王寺貝塚	178
87	深鉢 大木 8b 式 宮城県七ヶ浜町大木囲貝塚	178
XII	深鉢 上山田式 富山県氷見郡朝日貝塚	182
153	人体装飾付鉢 上山田式 石川県河北郡宇ノ気町上山田貝塚	182・183
162	注口土器 御殿山式 北海道・手宮遺跡	183
173	双子土器 新地式(仮称) 福島県新地村三貫地貝塚	184
183	双口土器 加曾利 B1 式 茨城県稲敷郡美浦村陸平貝塚	184
186	注口土器 加曾利 B1 式 茨城県稲敷郡大須賀村福田	184
XV	台付皿型土器 加曾利 B2 式 茨城県稲敷郡大須賀村福田貝塚	184
198	台付異形土器 安行 2 式 埼玉県岩槻市真福寺貝塚	185
220	小型壺 大洞 A 式並行 北海道	186
248	香炉形土器 大洞 B2 式 秋田県南秋田郡馬川村字高崎小字高崎	188
E	付表 1 先史時代概説付表	221
91	19 小川貝塚 福島県史 第 6 卷 資料編 I 考古資料 31・32 福島県	3月31日
92	青森県上北郡甲地村長者久保遺跡調査略報 人類科学 17 61-67 九学会	3月 日
93	画龍点睛の弁(上) 成城新聞 第 84 号 1 成城新聞会	9月24日
94	画龍点睛の弁(下) 成城新聞 第 86 号 1 成城新聞会	12月5日
95	序 文 中村孝三郎著『室谷洞窟』 ii 長岡市立科学博物館	3月31日

1966

昭和 41 年

96	縄紋式研究史における茨城県遺跡の役割 茨城県史研究 第 4 号 1-12 茨城県	3月 日
----	--	------

1967

昭和 42 年

97	洞穴遺跡の年代 日本考古学協会編『日本の洞穴遺跡』 374-381 平凡社	3月30日
----	---------------------------------------	-------

- 98 第1章 下北の無土器文化——青森県上北郡東北町長者久保遺跡発掘報告—— 共 佐藤直夫
九学会連合下北調査委員会編 『下北——自然・文化・社会』 97-109 平凡社 3月31日
- 99 縄文土器の改定年代と海進の時期について
古 代 第48号 1-16 早稲田大学考古学会 3月31日
- 100 英文抄録 99の抜刷に付す
- 101 第一 日本遠古之文化 補註付・新版 62の再録
山内清男・先史考古学論文集・第一冊 1-44 先史考古学会 4月20日
- 102 第二 縄紋土器型式の細別と大別 50の再録
山内清男・先史考古学論文集・第一冊 45-48 先史考古学会 4月20日
- 103 第三 関東に於ける繊維土器 7の再録
山内清男・先史考古学論文集・第二冊 49-74 先史考古学会 6月25日
- 104 繊維土器について 追加第一 8の再録
山内清男・先史考古学論文集・第二冊 74-84 先史考古学会 6月25日
- 105 繊維土器について 追加第二 10の再録
山内清男・先史考古学論文集・第二冊 74-84 先史考古学会 6月25日
- 106 繊維土器について 追加第三 12の再録
山内清男・先史考古学論文集・第二冊 74-84 先史考古学会 6月25日
- 107 第四 古式縄紋式土器研究最近の情勢 37の再録
山内清男・先史考古学論文集・第二冊 85-96 先史考古学会 6月25日
- 108 第五 下総上本郷貝塚 6の再録
山内清男・先史考古学論文集・第二冊 97・98 先史考古学会 6月25日
- 109 第六 江名子ひぢ山の土器について 29の再録
山内清男・先史考古学論文集・第二冊 99・100 先史考古学会 6月25日
- 110 追 記 山内清男・先史考古学論文集・第二冊 100 先史考古学会 6月25日
- 111 第七 武蔵国殿袋出土の早期縄紋式土器 53の再録
山内清男・先史考古学論文集・第二冊 101-103 先史考古学会 6月25日
- 112 第八 是川一王子遺跡発見の土偶 31の再録
山内清男・先史考古学論文集・第二冊 104・105 先史考古学会 6月25日
- 113 第九 福岡構内石器時代遺跡発掘調査報告 57の再録
山内清男・先史考古学論文集・第二冊 106-108 先史考古学会 6月25日
- 114 第十 片口付縄紋土器に就て 71の再録
山内清男・先史考古学論文集・第二冊 109-112 先史考古学会 6月25日
- 115 第十一 所謂亀ヶ岡式土器の分布と縄紋式土器の終末 13の再録
山内清男・先史考古学論文集・第三冊 113-128 先史考古学会 7月25日
- 116 「所謂亀ヶ岡式土器の分布云々」に関する追加1 17の再録
山内清男・先史考古学論文集・第三冊 129-132 先史考古学会 7月25日
- 117 第十二 真福寺貝塚の再吟味 36の再録
山内清男・先史考古学論文集・第三冊 129-132 先史考古学会 7月25日

- 118 東京都板橋区小豆沢発見の安行 3c 式土器
山内清男・先史考古学論文集・第三冊 141 先史考古学会 7月25日
- 119 第十三 日本考古学の秩序 42 の再録
山内清男・先史考古学論文集・第三冊 143-154 先史考古学会 7月25日
- 120 追記 1
山内清男・先史考古学論文集・第三冊 154 先史考古学会 7月25日
- 121 第十四 考古学の正道——喜田博士に呈す—— 45 の再録
山内清男・先史考古学論文集・第三冊 154-160 先史考古学会 7月25日
- 122 追記 2
山内清男・先史考古学論文集・第三冊 160 先史考古学会 7月25日
- 123 第十五 石器時代にも稲あり 4 の再録
山内清男・先史考古学論文集・第四冊 161-164 先史考古学会 8月25日
- 124 附記
山内清男・先史考古学論文集・第四冊 164 先史考古学会 8月25日
- 125 第十六 磨製片刃石斧の意義 20 の再録
山内清男・先史考古学論文集・第四冊 165-173 先史考古学会 8月25日
- 126 附記
山内清男・先史考古学論文集・第四冊 173 先史考古学会 8月25日
- 127 第十七 稲の刈り方 30 の再録
山内清男・先史考古学論文集・第四冊 174-175 先史考古学会 8月25日
- 128 磨製方刃石斧の意義（前掲論文自抄） 28 の再録
山内清男・先史考古学論文集・第四冊 175 先史考古学会 8月25日
- 129 第十八 石包丁の意義 35 の再録
山内清男・先史考古学論文集・第四冊 177-178 先史考古学会 8月25日
- 130 第十九 日本に於ける農業の起源 48 の再録
山内清男・先史考古学論文集・第四冊 179-189 先史考古学会 8月25日
- 131 第二十 貝塚は何故日本海沿岸に少いか 33 の再録
山内清男・先史考古学論文集・第四冊 190-191 先史考古学会 8月25日
- 132 第二十一 下野国河内郡本村野沢の土器 18 の再録
山内清男・先史考古学論文集・第四冊 192-197 先史考古学会 8月25日
- 133 第二十二 米作と日本の祖先たち 73 の再録
山内清男・先史考古学論文集・第四冊 198-202 先史考古学会 8月25日
- 134 第二十三 貝包丁と石包丁（未発表草稿・昭和 18 年）
山内清男・先史考古学論文集・第四冊 203—208・206 先史考古学会 8月25日
- 135 附 記
山内清男・先史考古学論文集・第四冊 206 先史考古学会 8月25日
- 136 第二十四 石器時代土器底面に於ける稲粃の圧痕（未発表草稿・大正 14 年 4 月長谷部博士に提出）
山内清男・先史考古学論文集・第四冊 207・208・206・212 先史考古学会 8月25日
- 137 第二十五 磐城国三貫地貝塚発見土器の燃糸紋 3 の再録
山内清男・先史考古学論文集・第五冊 209-212 先史考古学会 9月25日
- 138 第二十六 斜行縄紋に関する二三の観察 11 の再録
山内清男・先史考古学論文集・第五冊 213-224 先史考古学会 9月25日

- 139 第二十七 縄紋土器の技法 80 の再録
山内清男・先史考古学論文集・第五冊 225—232 先史考古学会 9月25日
- 140 附図説明の改正と註 山内清男・先史考古学論文集・第五冊 232 先史考古学会 9月25日
- 141 第二十八 日本先史時代に於ける抜歯風習の系統 52 の再録
山内清男・先史考古学論文集・第五冊 233-241 先史考古学会 9月25日
- 142 第二十九 石器時代の犬小屋 72 の再録
山内清男・先史考古学論文集・第五冊 242-244 先史考古学会 9月25日
- 143 同 後篇 山内清男・先史考古学論文集・第五冊 244-246 先史考古学会 9月25日
- 144 第三十 石器時代人の寿命 41 の再録
山内清男・先史考古学論文集・第五冊 247-250 先史考古学会 9月25日
- 145 第三十一 武蔵高等学校裏石器時代遺跡の発掘 43 の再録
山内清男・先史考古学論文集・第五冊 251・252 先史考古学会 9月25日
- 146 竪穴底部の全形写真と実測図
山内清男・先史考古学論文集・第五冊 251・252 先史考古学会 9月25日
- 147 第三十二 磐城国新地村小川貝塚発掘略記（小川貝塚—三貫地貝塚—竪穴群） 2 の再録
山内清男・先史考古学論文集・第五冊 253-256 先史考古学会 9月25日
- 148 付 記 山内清男・先史考古学論文集・第五冊 256 先史考古学会 9月25日
- 149 編著 日本先史図譜 第一部・関東地方・I～XII集（1939～1941）
図 版 山内清男・先史考古学論文集・旧第六～十冊 1～119 先史考古学会 12月25日
- 150 編著 日本先史図譜 第一部・関東地方・I～XII集（1939～1941）
解 説 山内清男・先史考古学論文集・旧第六～十冊 1-38 先史考古学会 12月25日

1968

昭和43年

- 151 1 画龍点睛の弁 93・94 の再録
山内清男・先史考古学論文集・新第一冊 1-6 先史考古学会 1月15日
- 152 2 縄紋式研究史に於ける茨城県遺跡の役割 96 の再録
山内清男・先史考古学論文集・新第一冊 7-19 先史考古学会 1月15日
- 153 編集後記 山内清男・先史考古学論文集・新第一冊 19 先史考古学会 1月15日
- 154 3 縄紋土器の改定年代と海進の時期について 99 の再録
山内清男・先史考古学論文集・新第一冊 20-36 先史考古学会 1月15日
- 155 同 上 英文抄録 100 の再録
山内清男・先史考古学論文集・新第一冊 37-39 先史考古学会 1月15日
- 156 洞穴遺跡の年代 97 の再録
山内清男・先史考古学論文集・新第一冊 40-48 先史考古学会 1月15日
- 157 第三十三 小川貝塚 91 の再録
山内清男・先史考古学論文集・旧第十一冊 257-259 先史考古学会 2月5日
- 158 第三十四 福島県小川貝塚調査報告
山内清男・先史考古学論文集・旧第十一冊 260-273 先史考古学会 2月5日

- 159 追記 山内清男・先史考古学論文集・旧第十一冊 266-273 先史考古学会 2月5日
- 160 第三十五 鹿児島県出水貝塚の新発掘 78の再録
山内清男・先史考古学論文集・旧第十一冊 274-276 先史考古学会 2月5日
- 161 三十六 武蔵野の石器時代を掘る 55の再録
山内清男・先史考古学論文集・旧第十一冊 277-280 先史考古学会 2月5日
- 162 追記 山内清男・先史考古学論文集・旧第十一冊 280 先史考古学会 2月5日
- 163 第三十七 縄紋式文化 39の再録
山内清男・先史考古学論文集・旧第十一冊 281-283 先史考古学会 2月5日
- 164 追記 山内清男・先史考古学論文集・旧第十一冊 283 先史考古学会 2月5日
- 165 第三十八 鳥居博士と日本石器時代 75の再録
山内清男・先史考古学論文集・旧第十一冊 284-287 先史考古学会 2月5日
- 166 追記 山内清男・先史考古学論文集・旧第十一冊 287 先史考古学会 2月5日
- 167 第三十九 新石器時代序説 32の再録
山内清男・先史考古学論文集・旧第十一冊 288-293 先史考古学会 2月5日
- 168 追記 山内清男・先史考古学論文集・旧第十一冊 293 先史考古学会 2月5日
- 169 第四十 ボー氏日本史前遺品蒐集 5の再録
山内清男・先史考古学論文集・旧第十一冊 294-297 先史考古学会 2月5日
- 170 追記 山内清男・先史考古学論文集・旧第十一冊 297 先史考古学会 2月5日
- 171 第四十一 チェコ旧石器文献紹介三題 14・15・16の再録
山内清男・先史考古学論文集・旧第十一冊 298-300 先史考古学会 2月5日
- 172 追記 山内清男・先史考古学論文集・旧第十一冊 300 先史考古学会 2月5日
- 173 第四十二 日本先史時代文献紹介及批判二題 9・38の再録
山内清男・先史考古学論文集・旧第十一冊 301-304 先史考古学会 2月5日
- 174 縄紋土器文化のはじまる頃 83の再録
山内清男・先史考古学論文集・新第二冊 49-52 先史考古学会 3月25日
- 175 縄紋土器の古さ 共佐藤達夫 86の再録
山内清男・先史考古学論文集・新第二冊 53—87・91 先史考古学会 3月25日
- 176 同上英文抄録 87の再録
山内清男・先史考古学論文集・新第二冊 88-87・90 先史考古学会 3月25日
- 177 編集後記 山内清男・先史考古学論文集・新第二冊 91 先史考古学会 3月25日
- 178 大分県丹生の前期旧石器 共金関丈夫・佐藤達夫 85の再録
山内清男・先史考古学論文集・新第二冊 92-96 先史考古学会 3月25日
- 179 追記 山内清男・先史考古学論文集・新第二冊 96 先史考古学会 3月25日
- 180 矢柄研磨器について 日本民族と南方文化 63-87 平凡社 3月 日
- 181 英文抄録・追加記事・文献補遺 178の抜刷に付す
- 182 日本先史時代概説 90Bの再録
山内清男・先史考古学論文集・新第三冊 97-137 先史考古学会 4月15日
- 183 日本原始美術 第一・二巻 諸言 90Aの再録

- 山内清男・先史考古学論文集・新第三冊 137・138 先史考古学会 4月15日
- 184 付 記 山内清男・先史考古学論文集・新第三冊 138 先史考古学会 4月15日
- 185 The Arrowshaft Smoother in World Prehistory and Its Bearing
on the Chronology of Jomon Pottery 181の英文抄録を会議に投稿
第8回国際人類学民族学会議 当日配布アブストラクト 9月7日
- 186 中村孝三郎氏 新潟県小瀬が沢・室谷洞窟 序文二篇 84・95の再録
山内清男・先史考古学論文集・新第三冊 143・144 先史考古学会 4月15日

1969

昭和44年

- 187 縄文文化の社会 縄文時代研究の現段階
日本と世界の歴史 1 古代 先史 - 5世紀 86-97 学習研究社 10月1日
- 188 縄紋草創期の諸問題 MUSEUM 第224号 4-22 美術出版社 11月1日

1970

昭和45年

- 189 鳥居博士と明治考古学秘史
鳥居記念博物館紀要 第4号 33-35 徳島県立鳥居記念博物館 3月20日
- 190 見たこと聞いたこと 上つ代研究 第一号(大正8年10月)
考古学ジャーナル No.49 2・3 ニューサイエンス社 10月10日

1971

昭和46年

- 191 山内清男と語る 参加者 平山久夫・安藤幸吉・中村五郎
北奥古代文化 第3号 59-80 北奥古代文化学会 6月1日
- 192 序 文 佐々木洋治著「高島町史 別巻 考古資料編」 0・0 高島町 月 日

1972

昭和47年

- 193 縄紋式土器・総論 90Cの再録
山内清男・先史考古学論文集・新第四冊 145-183 先史考古学会 8月29日
- 194 佐々木洋治氏高島町史 別巻 考古資料編 序文 192の再録
山内清男・先史考古学論文集・新第四冊 184-192 先史考古学会 8月29日
- 195 縄文時代研究の現段階 187の再録
山内清男・先史考古学論文集・新第五冊 193-214 先史考古学会 10月29日
- 196 鳥居博士と明治考古学秘史 189の再録
山内清男・先史考古学論文集・新第五冊 215-219 先史考古学会 10月29日
- 197 図版解説 90Dの再録
山内清男・先史考古学論文集・新第五冊 220-234 先史考古学会 10月29日
- 198 両尖匕首 山内清男・先史考古学論文集・新第五冊 235-238 先史考古学会 10月29日
- 199 瀬戸内方面?の異形磨石斧
山内清男・先史考古学論文集・新第五冊 239・240 先史考古学会 10月29日

1974

昭和49年

- 200 第一部 日本先史考古学概論 一 日本遠古之文化 62の再録
佐藤達夫編『日本考古学選集 21 山内清男集』 180-224 築地書館 6月20日
- 201 第一部 日本先史考古学概論 二 縄紋土器型式の細別と大別 50の再録
佐藤達夫編『日本考古学選集 21 山内清男集』 176-179 築地書館 6月20日
- 202 第一部 日本先史考古学概論 三 日本に於ける農業の起源 48の再録
佐藤達夫編『日本考古学選集 21 山内清男集』 14-24 築地書館 6月20日
- 203 第二部 縄紋文化研究 一 関東北に於ける繊維土器 7の再録
佐藤達夫編『日本考古学選集 21 山内清男集』 26-56 築地書館 6月20日
- 204 同追加 第一、第二、第三 8・10・12の再録
佐藤達夫編『日本考古学選集 21 山内清男集』 57-66 築地書館 6月20日
- 205 第二部 縄紋文化研究 二 所謂亀ヶ岡式土器の分布と縄紋式土器の終末 13の再録
佐藤達夫編『日本考古学選集 21 山内清男集』 67-85 築地書館 6月20日
- 206 同追加一 17の再録 佐藤達夫編『日本考古学選集 21 山内清男集』 86-90 築地書館 6月20日
- 207 第二部 縄紋文化研究 三 真福寺貝塚の再吟味 36の再録
佐藤達夫編『日本考古学選集 21 山内清男集』 91-98 築地書館 6月20日
- 208 第二部 縄紋文化研究 四 古式縄紋土器研究最近の情勢 37の再録
佐藤達夫編『日本考古学選集 21 山内清男集』 99-100 築地書館 6月20日
- 209 第二部 縄紋文化研究 五 矢柄研磨器について 180・181の再録
佐藤達夫編『日本考古学選集 21 山内清男集』 108-134 築地書館 6月20日
- 210 第二部 縄紋文化研究 六 縄紋草創期の諸問題 188の再録
佐藤達夫編『日本考古学選集 21 山内清男集』 135-154 築地書館 6月20日
- 211 第二部 縄紋文化研究 七 縄紋土器の技法 80の再録
佐藤達夫編『日本考古学選集 21 山内清男集』 155-159 築地書館 6月20日
- 212 第三部 弥生文化研究 一 石器時代に稲あり 4の再録
佐藤達夫編『日本考古学選集 21 山内清男集』 161-165 築地書館 6月20日
- 213 第三部 弥生文化研究 二 磨製片刃石斧の意義 20の再録
佐藤達夫編『日本考古学選集 21 山内清男集』 168-175 築地書館 6月20日
- 214 第三部 弥生文化研究 三 石包丁の意義 35の再録
佐藤達夫編『日本考古学選集 21 山内清男集』 166・167 築地書館 6月20日

1979

昭和54年

- 215 著 日本先史土器の縄紋 先史考古学会 11月15日
目次 iii 例言 iv 本文 1 - 72 附表 3 模型図版 37 葉 図版 129 葉
目次 i - iii
例言 塚田 光 iv
序説 3-6

前	篇 縄紋原体の変化	
0	縄と縄の記載について	11-13
1	縄の圧痕 特に回転による	13-17
2	縄の部分の変化及び附加物	17-22
3	組 紐	22
4	単軸絡条体	23-28
5	多軸絡条体	29
後	篇 縄紋の総合的研究	
1	繊維工芸としての縄	33-41
2	装飾としての回転縄文	42-50
3	紋様と縄紋	50-58
4	最古縄紋式土器に於ける縄紋	58-64
	摘要及び余説	
1	序説の摘要	67
2	前篇 縄紋原体の変化の摘要	67・68
3	後篇 縄紋の総合的研究の摘要	71
4	余 説	71・72
附	表	
I	日本先史時代の縄の撚り方の癖 (要旨)	41
II	縄紋押捺方向の消長 (要旨)	49
III	縄紋及び紋様の地方的年代的消長 (要旨)	57
跋	山内清子	73
模型写真	37 葉	
図 版	129 葉	

1989

平成元年

- 216 山内清男と語る 参加者 平山久夫・安藤幸吉・中村五郎 188の再録
北奥古代文化 別冊 1-22 北奥古代文化研究会 10月10日

2007

平成19年

- 217 無土器文化と縄紋文化の年代 多摩考古 37 42-52 多摩考古学研究会 5月1日

2008

平成20年

- 218 無土器文化と縄紋文化の年代(2) 多摩考古 38 29-34 多摩考古学研究会 5月1日

2018

平成30年

- 219 多摩川の南へ(昨年九月六日のこと) 採集袋 一 大正8年6月26日
博古研究 第55号 59・60 博古研究会 4月30日

220 Prehistoric Japan 中より 採集袋 一 大正8年6月26日

博古研究 第56号 62-64 博古研究会 10月31日

〔元横浜市歴史博物館学芸員〕